

今田哲夫 いまだ てるお 歌人、漢詩人。明治二十一年二月八日熊本縣生乳（二八九一）。號鐵鑊。第五高等學校卒。鳥居素川の興した大正白新聞社入社。部長花田比露思、同僚花園天淚、入山雄一等の影響で作歌、武達短歌會（加はり）、歌誌『こぼろゝる』の作品を發表。一方中學校時代から藁井雨堂（就ち）漢詩を作り、高野竹陰主宰の羊嶺吟社詩會にも列席。新聞社解散後、京都帝國大學文藝部に入り支那文學科を卒業。歌誌『あけび』同人。

著書に、歌集『風日』（昭和十五年十一月二十九日千文書房「あけび叢書」）、『白南歌集』（校註、昭和十七年十一月一日春陽堂書店「新文庫」）、『石川啄木』（昭和二十四年八月十五日成城國文學會「文藝讀本」）、『徳富蘆花』（成城國文學會編、昭和二十五年七月二十日市ヶ谷出版社「文藝讀本」）、『小紅翠園隨筆』（昭和五十五年九月二十日私家版）等。

